

第4回 学校関係者評価報告書

公益財団法人積善会 積善会看護専門学校 学校関係者評価委員会は、令和6年8月7日（水）に「令和5年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので以下の通り報告します。

令和6年9月10日
公益財団法人積善会
積善会看護専門学校
学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会

<評価委員> (3名)

- ・本校講師（担当科目：国語表現法、人間関係論、教育と人権）
- ・実習病院 看護部長
- ・本校卒業生

<学内> (6名)

- ・積善会看護専門学校 校長
- ・積善会看護専門学校 事務長（学校関係者評価委員会 委員長）
- ・積善会看護専門学校 教務主任（自己点検・自己評価委員会 委員長）
- ・積善会看護専門学校 専任教員（自己点検・自己評価委員）2名
- ・積善会看護専門学校 事務員 1名

2 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
I 教育理念・目標	・特に問題なし
II 学校運営	・施設の老朽化は法人全体の問題であるが、トイレをはじめ、少しずつ改修し整備されている。学生に支障があるところはないか直接聞いてみてはどうか。
III 教育活動	・ICT化が進み学校選択の基準になりつつあるが、簡単にインターネットや動画等で情報を得られ、根拠がわからない学生が増えている。ノートの取り方の指導や書いて覚える習慣付けが必要。 ・卒業するまでに一定のレベルに近づけてほしい。また、すぐに誰かに聞くのではなく、まず自分で一度考える姿勢を身に付けてほしい。 ・実習前後に試験を行っていることはとても良い。しかし、試験が終わると同時にリセットされてしまう傾向にある。学んだことがどのように国家試験につながるのか常に考える必要がある。

IV 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし
V 学生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や大学への進学希望の増加により学生の確保が難しい状況だが、地元にある学校や専門学校に入学したいと考えている人も一定数いる。学校説明会等のアンケートでは好評価を得ているので、入学につながるよう結び付けてほしい。 ・車通学が可能になった事をもっとアピールした方がいい。
VI 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし
VII 研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・学校としてオンライン研修に参加したが、自主的にスキルアップができる研修に受講する必要がある。

< 総評 >

学校教育では ICT 化が進んでいるが、自分で調べたり書く機会が少なくなっており、また、根拠を理解しないまま覚えようとするため、学習したことが卒業後も継続して身につかない傾向がある。ICT 化も必要だが、自分で調べる、覚えるまで書く等のアナログなことも必要である。積善会看護専門学校では紙媒体の教科書を使用し対面での授業を継続している点は利点であると思える。

また、就職した人の最近の傾向としてわからないことをすぐに聞いてくる。自分で考える力も在学中に身に付けてほしい。

少子化により受験生の確保が課題であり、医療の担い手も不足している。共に協力し入学者を増やし、地域に貢献できる人材を確保していきたい。